

2025年5月4日(18週目)主日礼拝

「家庭福音化の契約と祝福」(使徒 16:11-15)

○家庭福音化は主がなさることである。主がなさることを信じるように。家庭福音化がなされると多くの祝福がある。

- 1、個人—創世記 3:15 の福音を信じるのが重要である。悪魔はキリストによって打ち砕かれる。キリストは、悪魔、罪、死の力を打ち砕いた。
  - ・今日の御言葉、今日の祈り、今日の伝道( I ペテロ 1:9)で私達の信仰が強くなるように。
- 2、教会—伝道が出来る為には個人だけではなく教会が必要である。教会を通して伝道運動をすることが出来る。
  - ・福音の御言葉が流れ、祈り、伝道をする教会となるように。伝道の使命を握り、東海地震が無くなるように祈ったところ災いが無くなった。伝道運動がされると世界が変わる。
- 3、家—家庭が生かされて、家族が共に伝道の為に協力をするように。私達の家庭が福音化されるように。
- 4、仕事(勉強)—仕事祝福をされて、伝道運動がなされるように。
- 5、地域、国家、世界—世界福音化は約束であるのでされる。私を伝道されたように、私も伝道の為に命を捧げるように。アメリカの宣教師の中で、命をかける程の宣教師がいた時にアメリカは一番祝福された。滅びゆく人々を救い出す為に、神様が私と共におられる。私達は伝道の為に生きることが出来るように。

1.チーム 300%	2.家庭福音化の契約と祝福	3.癒し
<p>▲チームを作って伝道運動を出来るように。</p> <p>1)パウロ、シラス—使 15:40 (パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて出発した。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バルナバとパウロがマルコを連れていかで論争となり分かれた。</li> <li>・伝道は戦争である。</li> <li>・パウロとシラスがチームになり伝道した</li> </ul> <p>2)パウロ、シラス、テモテ—使 16:1(パウロはデルベに、次いでルステラに行った。そこにテモテという弟子がいた。信者であるユダヤ婦人の子で、ギリシヤ人を父としていた)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パウロがルステラに命をかけたのは、テモテの弟子がいたからである。</li> <li>・パウロとシラスとテモテがチームとなる</li> </ul> <p>3)パウロ、シラス、テモテ、ルカ—使 16:10 (パウロがこの幻を見たとき、私たちはただちにマケドニヤへ出かけることにした。神が私たちを招いて、彼らに福音を宣べさせるのだ、と確信したからである。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トロアスのところにルカがいた。</li> <li>・ルカもチームとなって一緒に伝道した。</li> <li>・ルカはもともとマケドニヤの人であった</li> <li>・マケドニヤの弟子であるルカも共に伝道してマケドニヤの門が開かれる。</li> <li>・伝道は福音を求める人たちの所に行く。</li> <li>・私達は、弟子としてたてられた。</li> <li>・世界福音化をする弟子をたてるように。</li> <li>・伝道・宣教する時に日本の災いは終わる</li> </ul>	<p>▲私達の家庭の福音化がなされるように。</p> <p>1)使 16:14-15 (テアテラ市の紫布の商人で、神を敬う、ルデヤという女が聞いていたが、主は彼女の心を開いて、パウロの語る事に心を留めるようにされた。そして、彼女も、またその家族もバプテスマを受けたとき、彼女は、「私を主に忠実な者とお思いでしたら、どうか、私の家に来てお泊まりください」と言って頼み、強いてそうさせた。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルデヤはマケドニア(今のギリシヤ)に住んでいる人であった。</li> <li>・パウロ達は、主が願われる弟子がどこにいるのかを導きを求めて切に祈った。</li> <li>・パウロは、御言葉を求める弟子がいる会堂(10人以上のユダヤ人がいる場所)か祈り場(10人未満のユダヤ人がいる場所)を中心に伝道した。</li> <li>・パウロが福音を語る時に聖霊の働きでルデヤの心を開かれ信じるようになった。</li> <li>・ルデヤだけでなく家族が救われ、ルデヤの家族が福音化に用いられるようになった。</li> </ul> <p>2)使 16:30-31 (ふたりは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」と言った。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パウロは古い師に伝道した—古い師の悪霊が砕かれた—無罪の罪で監獄に入れられた</li> <li>・パウロは監獄の中で、地震が起こり監獄から出るようになった。</li> <li>・パウロを通して監獄の看守が救われるようになった。</li> </ul> <p>○使 16:34 (ふたりをその家に案内して、食事のもてなしをし、全家族そろって神を信じたことを心から喜んだ。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パウロによって看守の家族も救われるようになった。</li> <li>・私達の家族もキリストを信じる事が出来るように—名門の家門となる。</li> </ul> <p>3)使 16:40 (牢を出たふたりは、ルデヤの家に行った。そして兄弟《きょうだい》たちに会い、彼らを励ましてから出て行った。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルデヤの家族が弟子化されるようになった。</li> </ul> <p>4)ピリ 1:1(キリスト・イエスのしもべであるパウロとテモテから、ピリピにいるキリスト・イエスにあるすべての聖徒たち、また監督と執事たちへ。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピリピ教会が建てられるようになった—私の家族を通して地教会が出来るように。</li> </ul> <p>5)ピリ 4:22(そして特に、カイザルの家に属する人々が、よろしくとっています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ローマのカイザルの家庭に属する人たちが救われるようになった。</li> <li>・コンスタンティヌスの母のヘレナは信仰が強い人であった。</li> <li>・信仰のヘレナによって育てられたコンスタンティヌスは、信仰の強い皇帝となる。</li> <li>・4歳~14歳までにキリストを信じた人たちは主の為に献身をする人が多い。</li> </ul>	<p>▲癒しを受けることが出来るように。</p> <p>1)使 16:18 (幾日もこんなことをするので、困り果てたパウロは、振り返ってその霊に、「イエス・キリストの御名によって命じる。この女から出て行け」と言った。すると即座に、霊は出て行った。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キリストの名前で暗闇の力を打ち砕く祈りをする時に闇は砕かれる</li> </ul> <p>2)使 16:25 (パウロとシラスが神に祈りつつ賛美の歌を歌っていると、他の囚人たちも聞き入っていた)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題は問題でなく祝福である。</li> <li>・パウロは牢屋に入れられたが、全てが祝福と味わっていた。</li> <li>・牢屋でも感謝をして賛美をした。</li> <li>・主の故に揺れない者となる。</li> </ul> <p>3)使 16:38-39 (警吏たちは、このことを長官たちに報告した。すると長官たちは、ふたりがローマ人であると聞いて恐れ、自分で出向いて来て、わびを言い、ふたりを外に出して、町から立ち去ってくれるように頼んだ。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パウロはローマの市民権を持っていることを分かった。</li> <li>・サミット達がわびるようになった</li> <li>・私達の家庭が生かされるように</li> <li>・世界を生かす主人公となるように</li> </ul>

## 現場地教会(2025年5月4日～2025年5月10日)

### 【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ  
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ  
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

### 【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

### 【メッセージ】 「家庭福音化の契約と祝福」(使徒 16:11-15)

### 【讚美】 393 われらの戦い血によらず

### 【祈り】

- ① 教会の祈りの課題  
※御国イザヤ牧師に聖霊充滿と5つの力が与えられるように。
- ② 現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
- ③ 現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

### 【フォーラム・祈り】

### 【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。アーメン

## 祈り文

私を神様の子供、祝福の源として、伝道者として召して下さって感謝します。主よ、私個人に創世記3:15王なるキリスト、勝利者キリストが、サタンを打ち砕かれ、罪と死、地獄、すべての問題が完了した事を信じます。今日のみ言葉、祈り、伝道が教会中心としての弟子の答えを受けますように。“また主イエスを信じなさい、そうすればあなたとあなたの家族が救われる”と言うみ言葉が成就されますように。また、職場、産業が祝福され、レムナントの学業が祝福されますように。パウロがシラスとチームになり、ルカ、テモテのような弟子と出会ったように、私にもその出会いを与えてください。主が準備した300%伝道チームを起こしてください。ルデヤのような使命者に会い、家族が救われ、弟子化され、キリスト・イエスにあるすべての聖徒たち、また重職者たちが一つとなり、教会に献身できますように。ピリピ教会が建てられ、カイザルの家に属する者たちが弟子となったように、私たちの教会に権力者、サミットの弟子たちが起こされる事を信じます。癒しの証拠としてイエスキリストの御名によって悪霊が完全に打ち砕かれ、迫害、危機、どのような問題を持って感謝と讚美を捧げる恵みを与えてください。この五つの流れである講壇のみ言葉を掴み、祈り、その答えとして伝道が成されますように。全ての地域が宣教地であり、日本(237カ国)が宣教の中心となりますように、私達の教会を用いて下さい。また、宣教団体がたてられ、日本の災いを止める祝福を私たち教会が受けますように。今週のみ言葉により、私を完全に治め、福音に根をおろし、福音のみ言葉を刻印し、福音が私の生活の体質となるようにしてください。過去の傷、古い体質はイエス・キリストの御名によって癒され、礼拝をささげ、み言葉を聞くごとに、正確な福音を悟り、理解し、生活に適應できる靈的な力をお与えください。御国イザヤ主任牧師に、聖霊充滿と5力を与えられ、100か所地教会運動、楠RUTCに1,000名収容できる建築の為に切に祈ります。新しい家族訓練を通して新しい家族が福音に根を下ろす訓練となれますように。毎日この契約を握り、職場を生かす証人としてください。主の契約を握り、出会う全ての人々、出来事、働きの中で福音の証人としてください。家庭職場に平安と喜びをください。福音で幸せでありキリストの証人の職場家庭としてください。今も私の内に私と共におられ、私を治め、私を導かれ、私の人生の主人であられ、生きておられるイエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

### (お知らせ)

- ① 5月5日～6日 新しい家族訓練
- ② 愈長老、国邑牧師夫人、小林裕子勸士の癒しの為に。

## 福音宣教教会

主管牧師：御国イザヤ

名古屋市中区栄5丁目23-8 / tel:052-238-6003

主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00